

わたしたちの街に新しい発見

ふ♡れ♡あ♡い

いかた

2月号

No.22
平成19年
2月1日発行

生涯学習だより

発行■伊方町教育委員会 編集■生涯学習課 印刷■(株)豊予社



～ 愛媛マングリンパイレーツの安達・森選手に学ぶ～

今月の主な紙面

- | | |
|--------------------|-------------|
| ● 19年伊方町成人式 | ● 伊方スポセンだより |
| ● 三崎駅伝大会 | ● 子ども放送局 |
| ● 瀬戸駅伝大会 | ● 図書館だより |
| ● 公民館だより | ● 児遊館より |
| ● 学校通信 | ● 人権学習シリーズ |
| ● 健康講座開催－伊方町婦人会－ | ● 町見郷土館から |
| ● 女性団体連絡会主催講演会の開催 | ● 佐田岬民俗ノート |
| ● マングリンパイレーツ野球教室開催 | ● 広報 文芸 |

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

2月のテーマ

“明るい郷土をつくろう”

(実践方法)

- 郷土の史跡探訪、文化財めぐりなどを行って、家や郷土の歴史や文化について話し合おう。
- 郷土芸能や文化の伝承活動に参加しよう。

祝 伊方町成人式開催

108名の新たな門出を祝福



大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を祝い励まそうと1月3日、町生涯学習センターにおいて、「平成十九年伊方町成人式」が開催されました。今年の新成人該当者は一四六名で内、男性五四名、女性五四名計一〇八名が出席し、式典や記念行事で新成人の門出を祝いました。

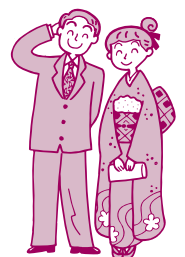


山下町長からは、「皆さんは、これから成人としての権利を認められるとともに、義務も求められてきます。今日から自分たち一人ひとりが、社会に参画するのだという意識をしっかりと持つてほしいということ、また、社会生活において多くの人と接することとなりますが、お互いの価値観を認め合い、大人としての自覚を持つて行動していただきたい、そして、自らの目標に向かって努力を重ね、希望に満ちあふれる人生を歩んでください。」と励ましの言葉を頂きました。



高岸町議会議長をはじめ来賓の方々からもお祝いの言葉を頂き、新成人は神妙な表情で聞き入っていました。又、新成人を代表して大塚麻衣さん(三机)がお礼の言葉を、宮本武明さん(亀浦)が二十歳の抱負を発表しました。

式典終了後は、記念写真の撮影さらに、茶話会を開催し同級生との久しぶりの再会に会話も弾み、時間が過ぎるのも忘れ懇親を深めました。



佐田岬の風になれ!! 三崎駅伝大会

三崎公民館

佐田岬の強い風が吹く新春の1月8日、第39回三崎駅伝大会が行われ、128人のランナーが元気に力走し、三崎街道を1本のタスキで繋ぎました。

今年で第39回目を迎える三崎駅伝大会は、四国最西端の学校、佐田岬小学校をスタートしムーンビーチでお馴染みの井野浦地区を経由して、三崎総合体育館前にゴールする三崎湾岸線の15.6kmを5区間でタスキを

繋ぎます。当初1月7日に開催する予定でしたが、強風等の注意報の出る悪天候のため翌日に順延して行いました。日程の変更で出場できなくなるチームが続出しとても残念でしたが、今年は瀬戸地域からの参加もあり、24チームとオープン参加3チームが出場し、39年間繋がったローカルな大会を元気に盛り上げて頂きました。成績は、以下のとおりです。

【中学男子の部】1位 三崎中3年かもめ 2位 三崎中バレーA
 【中学女子の部】1位 女子テニスA 2位 女子テニスB
 【高校男子の部】1位 三崎高校サッカー部 2位 野球部A
 【一般男子の部】1位 大久スポーツ少年団A 2位 スポ混I
 3位 スポ選
 【一般女子の部】1位 卓球部女子 2位 五年ジョシーズ
 【区間新記録賞】高校男子の部 3区(2.5km) 松本 翼さん(大久) 7分30秒
 【連続出場表彰】中村輝雄さん(20回連続出場)



「瀬戸駅伝大会」

瀬戸公民館

新春の瀬戸路を飾る、第40回瀬戸駅伝大会が、1月14日(日)36チームの参加を得て開催されました。

当日は暖かい天候にも恵まれ絶好のコンディションの

第40回 瀬戸駅伝大会【1月14日(日)】総合成績表

部	順位	チーム名	記録
1部	(地域内一般)		
	優勝	伊方サービスK	51分52秒
	準優勝	ファミリーF	53分43秒
	3位	伊方サービスD	54分39秒
2部	(地域体協・クラブ・高校男子)		
	優勝	川之石高校陸上部	45分46秒
	準優勝	伊方体協A	46分23秒
	3位	八幡浜体協	47分48秒
3部	(郡内中学校男子)		
	優勝	瀬戸中男子バレー部A	48分50秒
	準優勝	伊方中野球部A	49分23秒
	3位	伊方中野球部B	51分13秒
4部	(郡内中学校女子・一般女子)		
	優勝	伊方中女子バレー部	57分58秒
	準優勝	瀬戸中女子バレーボール部	58分24秒
	3位	内子レディース	58分55秒
5部	(オープン)		
	優勝	三崎高校team翼	47分24秒
	準優勝	大久スポーツ少年団A	51分45秒
	3位	内子町役場	53分28秒

区間新記録賞等

部	区間	氏名	所属	記録	備考
1部	1	和気慶延	ファミリーF	10分1秒	同記録
	6	池田雅也	伊方サービスK	6分52秒	新記録
5部	3	中村正英	三崎高校team翼	8分27秒	新記録
	5	清水淳規	三崎高校team翼	5分29秒	新記録
	6	松本 翼	三崎高校team翼	6分19秒	新記録

もと、瀬戸地域及び伊方町内外からも多数の参加を得て、13.2kmのコースを競い合いました。

一本のタスキにそれぞれの願いを込め、チームが一丸となりゴールを目指しました。

沿道には選手を応援する大勢の方々が集まり、暖かい声援を送っていました。

結果は次のとおりです。



四ツ浜体育館前 36チームが一斉スタート



塩成第4中継点 1部優勝の伊方サービスK

平成十九年 壮年講座・新春交歓会

中央公民館

1月7日(日)伊方町壮年会を対象とした壮年講座並びに、伊方町壮年会主催の新春交歓会が、町民会館において開催されました。

これは、町の中核層を担う壮年層を対象とした講座と合わせて、壮年会会員と町長、町議会議員、教育長が、町政に関する意見交歓会及び、親睦会を毎年新春に行っている催しです。

今年の講座は、伊方サービス(株)に勤務する健康運動指導士の西野吉幸先生を講師に招き、「生活習慣病予防について」講話をいただきました。

まず初めに、生活習慣病(肥満、糖尿病、

高血圧、動脈硬化、心臓病等)の説明があり、その予防法について、椅子を使った運動や家庭でも簡単にできる運動を、参加者として

い、日頃の運動不足を実感していました。

また、新春交歓会では、町長、

議長、教育

長の年頭のあいさつの

後、壮年会より、プル

サマル導入による町の

のメリット、

亀ヶ池温泉施設の概要

風車建設計画や、観光

についての質問に対し

て、町理事者の説明と

活発な意見交歓が行わ

れました。



「活発な自治公民館活動を!!」

町見公民館

各地区ごとに設置されている自治公民館の取り組みについて紹介いたします。

この自治公民館については、施設の活用と利用団体等の育成・地域行事の伝承や生活課題の改善・地区公民館と協力しての事業実施等を目的として設置されています。

また、各自治公民館ごとに館長と主事が選任され、地区内の社会教育的な活動面を担当し、団体やグループの連絡調整を図ったり活動の企画推進の中核を担っています。

特に自治公民館主事さんについては、町の委嘱主事として位置づけられ、主事さんの企画する事業については予算の範囲内で費用の一部助成があります。

また、地区公民館(町見公民館等)と連携をとり地域行事を共に協力し合いながら進め

たりと事業の促進を図っています。

現在、

町見公民館の対象

地区において

は助成対象事業として

業として



八地区から十一事業の活動報告がなされています。その中の鳥津地区の取り組みをご紹介します。

鳥津地区では、地区の住民が地域社会の中で安心かつ安全にいきいきと住み続けられるよう活動を展開しています。

まず、七月に絵手紙教室を開催。九町の畑山千沙子さんを講師に、参加者十二名で和気藹々と交流を深めました。

また、九月には「伝えたい我が家の味」と題して郷土の料理「丸寿司」等をつくり、ふるさとの味を確認しあいながら郷土料理について話し合い楽しい一日を過ごしました。

このように各自治公民館では地区・地域の発展とふる里の活性化の為、様々な活動を展開しています。今後とも地区公民館・自治公民館及び各種機関・団体と連携を図り「融和と協調を大切にしたい、生きがいと魅力ある町づくり」を推進していきたいと思います。

町見公民館の対象地区において

「新春書き初め大会」入賞者一覧

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
金賞	三 好 泰 生	井上雄一郎	佐々木 颯	木嶋美桃里	阿 部 治 貴	島 津 美 紀
銀賞	井 上 晴 賀	佐々木樹大	村 上 優 也	村 上 真 也	井 上 友 美	福島みのり
				阿 部 祐 馬		
銅賞	井 上 巧	竹本夏奈	山 本 蒼 太	新 見 花 歩	竹 本 流 星	福 島 貴 行
		岩 村 豪 輝	井 上 玲 亜		成 本 香 菜	坂 内 千 美



新春書き初め大会

（瀬戸公民館）

新年五日(金)恒例の「書き初め大会」が三机、塩成、川之浜、大久地区の四会場で行われました。

講師 結城八郎さん、井上千代さんの指導のもとで、参加した児童七十三名は、各学年ごとの課題に取り組みました。練習用紙にのびのびと書いていましたが、

清書用紙になると緊張しながらも、カ一杯一筆一筆丁寧に筆を走らせていました。この日の作品は、1月末まで、瀬戸町民センター階ロビーに展示しております。子供たちの力溢れる作品を是非ご覧下さい。

心新たに新年の抱負を書き初め!!

(三崎公民館)

新しい年を迎えて、背筋を伸ばし、新たな気持ちで筆を握り、新年の夢や希望を言葉に表現してみようと言うことで、1月5日、小・中学生を対象に三崎公民館で「新春書き初め大会」

れますので、
お近づきの際
は、是非ご覧
下さい。





世界の友を理解するために

伊方小学校

21世紀を担う子どもたちを育てるため、伊方小学校では、国際理解のための学習にも力を入れています。国際交流では、互いの文化を理解し、尊重し合うことが大切です。自国の伝統・文化を大切にしつつ、他者を理解する心を持つと言っています。ここで忘れてならないのは、自分の住んでいる地域・文化に対する愛着が育っていないと、他地域の伝統・文化に対する敬意も持ちにくいということです。本校では総合的な学習の時間において、地域の文化に目を向けるとともに、国際理解に向けた学習を行っています。

(一) 地域の文化について

各学年の総合的な学習の時間において、学年に応じた、地域について、地域の学習を深めています。伊方杜氏、記念碑、平家ゆかりの地等子どもなりに伊方の伝統文化への理解を深めています。



(二) ハロウィンパーティ

11月20日ちよつと早めのハロウィンが伊方小学校にやってきました。伊方町国際交流

員アロン・マドロンケイさんの指導の下、カボチャの提灯作りやトリック・オア・トリート(お菓子をくれないといたずらするぞ)を子どもたちが実際に体験することができました。大きなカボチャに驚き、嬉々とした顔で提灯作りをする子、トリック・オア・トリートと大きな声で各部屋を訪ねし、キャンディーをもらつ子、飾り付けの細かいところまでこころをそれぞれがその子なりに、ハロウィンパーティーを楽しむことができた。

世界の様々な国には様々な風習・文化があります。子どもものちから、何ぞれ、変なの。ではなく「へえ、おもしろいね」という気持ちをもち、てもらいたいと思えます。それが国際交流に必要なものではないでしょうか。



「わくわく発表会」

三机小学校

三机小学校では、表現力を育成し、自分の成長を確かめる場として、十二月の参観日に「わくわく発表会」を実施しています。

前半は、生活科や総合的な学習の時間に学習したことを、学年相応の表現方法で発表しました。以下、発表を通して学んだこと等を紹介します。



間違ったまの栽培をしながら、植物を愛する心を育てました。二年生は、昔のおもちゃ作りをして、先人の知恵を学びました。三年生は、昔の遊びや郷土料理を調べて、ふるさと三机への愛着をますます深めました。四年生は、九軍神についての調べ学習を通して、平和の大切さについて知りました。そして、五・六年生は、世界の食文化を調べていく中で、国際社会に生きる自分たちを再確認しました。後半は、親子が協力する活動として、低学年は、ドングリを使った飾り作り、高学年は、プラントーボックス作りの木工教室を行いました。保護者からも、子どもと

演技派ぞろいの学芸会

塩成小学校

去る12月10日(日)、恒例の学芸会が催されました。今年度も、合奏・劇・踊り・詩の暗唱など、工夫一杯のすばらしい学芸会となりました。すべての演技が満点ののできであったと思います。保護者の全員参加の中でお母さんに混じったお父さんの表現には目を見張るものがあり、しっかりと楽しませていただきました。児童が



演技に挑戦し、精一杯表現しようとして練習に励んだのは一ヶ月近くでしたが、本番は、みんな、のつていたり、役にはまっていたりの演技派ぞろいには、だれしも驚き、感心されたことと思います。

保護者の方も、子どもたちに負けない表現力を披露してくださいました。ひそかに夜、何度も集合して練習に励んだそうです。内容は、八西ニュースを参考にさせていただき、リフォームの宣伝から始まり、ギャルになり切ってリズムにのり、楽しく踊る姿に笑いと感動を与えてくださいました。保護者の皆様、ご苦勞様でした。ありがとうございました。



一緒に活動することで、子どもの成長に気づきかけになったという感想がありました。今後、子どもに「生きる力」が育つ、体験を基にした活動に力を入れていきたいと思っています。



一人一人が主役であり、演技派でもあった学芸会も「ふるさと」の全校合唱とハミングをバックに、六年生の閉会の言葉で盛況に終わりました。学芸会で得た個性豊かな表現力が、学校生活の中で発揮できるよう願っています。

健康講座を開催

―伊方町婦人会―

1月7日(日)、婦人会会員約70名が参加し、「健康講座」が開催されました。この講座は軽スポーツの推進を図るとともに、健康維持と、会員相互の親睦の和を広げることを目的に毎年行っているものです。

本年は、高知から講師を迎え、タオルで簡単にできるエクササイズを教わりました。

「タオル体操」と聞いていたので簡単な運動と思いきや、結構ハードで、かなり寒い日にもかかわらず、すぐに

全身が温くなりました。

軽快な音楽が流れる中、リズムに乗っ

ている人

乗り切れ

ない人も

それなり

にからだ

を動かし

正月のご

ちそう続

きのつけ

を解消？

できた一

日となり

ました。



女性団体連絡会主催 講演会のお知らせ

服装や小物など身につけているもので、人は感情や気分、行動に大きな影響を受けます。

着こなしのこつや、カラーコーディネートを習ってイメージアップを図り、自分自身も気分よく過ごしましょう。

◇日時 平成19年2月6日(火)13:30~15:15

◇場所 伊方町生涯学習センター
5階多目的ホール

◇演題 「ファッションと健康」

◇講師 山本学園 松山女学院専門学校校長
村井 淳子先生

◇対象者 どなたでもOK

◇受講料 無 料

(受講希望者は前日までに生涯学習課
へご連絡ください)

◇連絡先 38-2661

愛媛マンドリンパイレーツ

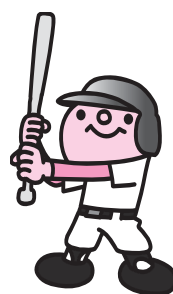
野球教室開催

12月16日(土)、瀬戸球場において野球教室が開催されました。

この教室は昨年12月から今年1月までの約2ヶ月間、伊方町においてトレーニングを実施していた、愛媛マンドリンパイレーツの安達選手と森選手にご協力をいただき実施したもので、町内の小中学生約40名が参加しました。

教室当日は天候にも恵まれ、

さわやかな青空の下、参加した子供達は元気に野球を基礎から学びました。



伊方スポーツセンターだより

使い方がわからなくてお困りの方々へ

トレーニングルームの 使い方説明会を2月9 日(火)に実施します

- ◆対象者 一般成人男女(学生可)
- ◆時間 18:00～19:00
- ◆会場 伊方スポーツセンター
- ◆定員 10名
- ◆受講料 施設使用料のみ(200円)
- ◆申込先 伊方スポーツセンター事務所
TEL 38-1100
TEL 38-0776(FAX兼)



- 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡下さい。
伊方スポーツセンター ☎ 38-1100
☎ 38-0776



平成18年度 伊方町生涯学習推進大会 記念講演会開催のご案内

- と き 平成19年2月18日
15時10分から16時40分まで
- ところ 伊方町中央公民館 4階大ホール
- 講師 畑 正憲(作家)

【経歴】

福岡市出身、中学・高校は大分県日田市に過ごす。1945年に東京大学入学、理学部生物学科を経て生物系大学院に進む。「われら動物みな兄弟」で第16回エッセイストクラブ賞受賞。

1971年北海道厚岸郡の無人島に熊や馬を連れて移住。翌年浜中町に移って「動物王国」を建国する。その後、動物たちと心温まる交流を描き続け1977年第25回菊池寛賞を受賞。1986年映画「子猫物語」を監督。



【著書】

「畑正憲作品集」「ムツゴロウの青春記」など多数。

講演会はどなたでも参加できます。

より多くの方が視聴されますようご案内いたします。

2月

3日 生放送	10日 生放送 ☆	17日 VTR放送	24日 生放送 ☆
11:00 Let's open the door! ③5	11:00 Let's open the door! ③6	11:00 Let's open the door! ③7	11:00 Let's open the door! ③8
11:05 子ども放送局 ニュース にじいろ玉手箱	11:05 ゆめスタジオ 「言葉」の大切さ ～アナウンサー 露木 茂さん～	11:05 子ども としよかん 中学年特集 「名作その3」	11:05 チャレンジ教室 科学 シャーペンの芯で つくる電球
11:15 「おしえてニュース」 「なんでも やってみよう」 地図とコンパスが 頼り雪山冒険旅行	11:15 短い時間で正確に 物事を伝えるアナウ ンサー。でも、言葉つ てとても難しいんだ。	11:15 わくわく どくしよランド 実験すれば絵本が わかる	11:15 シャーペンの芯で 電球がつくれる?! 電球を手づくりし ながら、電流の性質 をさぐってみよう。
11:30 「子ども特派員報告」 「おたよりコーナー」 など。	11:30 露木さんといっ しょに早口言葉を練 習して、アナウンサー 体験してみよう!	11:30 THE MAKING ふりかけが できるまで	11:30 講師 高橋尚紀さん
11:45 全国の体験活動情報が ぎっしり。			
(11:45)	(11:45)	(11:45)	(12:00)
さいほうそう 再放送	さいほうそう 再放送	さいほうそう 再放送	さいほうそう 再放送
3日 13:30～ 7日 15:30～	10日 13:30～ 14日 15:30～	17日 13:30～ 21日 15:30～	24日 13:30～ 28日 15:30～

生涯学習センターでは、三階児童遊館において、子ども放送局を放映しています。楽しい番組が盛りだくさん。皆さんの参加をお待ちしています。

子ども放送局



みんな来て！見て！参加してね！

☆ 生放送の番組では、質問・意見をファックス(03-5790-8154)、電子メールkodomo@niye.go.jpで募集中！



図書館だより



予約サービスについて

図書館では、貸出中の資料を次の利用者のために取って置くサービス(予約サービス)を行っております。

「貸出中だから、…」とあきらめず、この予約サービスを利用してください。予約された資料は、返却された時点で、予約者までご連絡いたします。



ピップスおはなし会のごあんない

2月のおはなし会は10日(土)・24日(土)の午後2時から行います。

楽しい絵本の読み聞かせや紙芝居などをおはなしコーナーでおこないます。
みんな、来てね！



2月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

■…休館日

利用案内

- 開館日／火曜日～日曜日
午前9時30分～午後6時
- 休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日・月末図書整理日・年末年始(12月29日から1月3日)・蔵書点検日

伊方町立図書館

伊方町湊浦1992番地

伊方町生涯学習センター2階

TEL(0894)38-0607 FAX(0894)38-0617

瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書の返却のみ可能。

大正ロマン「夢二」の世界へ展

大正時代に、波瀾の生涯を送り、幅広い分野で活躍し、現在でもなお高い評価を受けている『竹久夢二』。彼の全集をほるぷ社が当時の装丁に限りなく近づけて作成した初版復刻本を下記の日程で展示いたします。この機会にぜひ、図書館へお越しください。

期 間：平成19年2月1日(木)～2月27日(火)

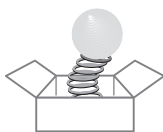
場 所：図書館 展示コーナー



児遊館より

びっくり箱を作ろう！

2月17日(土)午後2時から、牛乳パックを使ってびっくり箱を作ってみませんか？参加される方は当日時間までに受付にお越し下さい。



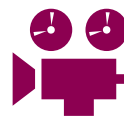
【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内児遊館 38-1020

映画上映会のご案内

2月10日(土)児遊館にて映画上映会を行います。

室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越し下さい。



場 所 児遊館内集会室

作 品 名 リロアンドスティッチ

上映時間 1回目 10:00～11:30

2回目 15:00～16:30

【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内児遊館 38-1020



人権学習シリーズ 206

第58回 全国人権・同和教育研究大会に参加して

命は一つ、共に生きる社会を目指して

伊方町立二名津小学校 山内 徹

第五十八回全国人権・同和教育研究大会が、十二月二日・三日に松山市で開催され、参加する機会を頂きました。

『差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう』を研究テーマとし、全国各地からの報告と活発な協議がされました。

特別報告に立ったAさんはまもなく傘寿を迎えますが、自らの体験をかみしめるように、力強く語られました。

まず、心の交流について、『私たちのムラへ引越して来た人から、『最初は不安な気持ちでいたが、聞くと見るとでは大違い。やさしくて面どう見のいい人ばかり。』ここへ来て本当に良かった』という心底からの言葉が、私にとってはとてもうれしかった。

次に、結婚問題について、『自分の子どもが結婚について悩む場面になった時に困

らないように、子どもが幼いころから、まっすぐに差別に立ち向かっていく親としての生き方を、見せてほしい。』

と、若い人たちへ託す言葉として強く訴えられました。分科会では、B君という、まわりの子どもたちから偏見を受けたり、決めつけた見方をされたりしがちな児童についての、発表がありました。

『B君が、友だちとトラブルを起こした時、お母さんにその日あったことを伝えました。また、お母さんからは、B君への思いや願いを聞きました。それを職員会に報告し、全職員で話し合いました。そして、B君の良いところを見つけ、もっと伸ばしていくことが大切だということを、全職員が共通意識を持って接していくことになりました。ある日、学校をよく訪問される地域のおじいさんから、『元気の。温かい手やの』と声をかけられ、B君はおじいさんに笑顔を向けて抱きつかしました。』

学校での取組を地域の人々が支援してくれたことで、B君は心を開くきっかけが持てたということでした。その後、B君のお母さんが次のような手紙をくれました。

『泣いた赤鬼』を読んでいるうちにいっしょに泣きながら読んでいました。この子といっしょに苦しいことやつらいことを共感し合っていけば、乗り越えていけそうです。』

お母さんは、子ども共に力強く生きていくための術を見出したのだと思いました。

親子の絆、地域の方々の温かな眼差しや心配りは、『地域の子どもの地域で育てる』の地域に根ざした学校づくりのために、重要なことだと強く感じました。

命は、かけがえないものの、自らの生き方を見出し、人間としての誇りを持つことこそ、人権・同和教育の目指すものだと思ひ強く認識しました。

人権フェスタ2006

“いかた” 開催

〜守ろう語ろう

身近にある私たちの人権〜

人権フェスタ2006“いかた”が十二月十日(日)伊方町中央公民館で開催されました。一階フロアでは、オレンジ作業所、たんぼクラブ、ふれあい岬から、ふれあいマーケットが開かれ、手作りの作品が販売されました。

また、午前中は子ども映画まつりがあり小学生や親子連れで賑わいました。午後の部では、三崎高等学校吹奏楽部のオーブニング演奏の後、町内中学生三名による人権作文の発表がありました。

最後に、森口健司さんの「昨日の自分より今日の自分が好き」と題した講演が行





三崎中3年生 阿部愛海さん
「今戦争と向きあって」



瀬戸中2年生 藤川克久さん
「足を骨折して」



伊方中2年生 松田真実さん
「差別の目 いじめの芽」

中学生人権作文 発表者の3名

映画「地球が動いた日」を見て

豊之浦小学校 四年

井上 晃

ぼくは「地球が動いた日」を見て、大地震でなくなる人がたくさんいて、かわいそうだなと思いました。

一番悲しかったところは、仲良しのみほちゃんが家族全員なくなってしまったことです。

でも、つよしくんは、人のためになりたいと思ったのでそこがよかったです。みんなを助けるために手伝うことはとてもいいことだと思います。

同級生の人みんなで協力して働いているところもよかったです。とてもやさしいなあと思いました。特にひとりぼっちのおばあさんをなぐさめてあげたところがいいなと思いました。

助け合うことで大地震がきても立ち直ることができるんだと分かりました。こまっっている人を助ければ、喜んでもらえます。ぼくも、そんなきがきたらみんなのために手助けができるやさしい人になりたいです。

水ヶ浦小学校 五年

山口直人

今日、「地球が動いた日」という映画を見ました。すごく大きな地震が起こって、大勢の人々が亡くなりました。とても悲しい映画でした。

特に、かず君のことが心に残りました。地震でお父さんが亡くなり、たった一人で暮らすことになってしまったかず君のことが、かわいそうになりました。かず君はともつらそうでした。

ぼくは、どんな悲しい目にあっても、生きることが大切なんだな、と分かりました。今、いじめなどで自殺する人が増えています。でも負けちゃだめです。自分の命も人の命も大切にしないといけません。地震で家や家族を亡くした人たちでも、周りの人に親切にすることをわすれていませんでした。がんばって生きていこうと一生けんめいでした。ぼくも、高齢者や体の不自由な人がいたら手を貸してあげたいです。

森口健司さんの講演を聴いて

瀬戸中学校 二年

中村彩恵

人権フェスタに参加して、差別のことについていろいろ考えることが出来ました。森口健司さんの話は、とても説得力があり心に残りました。部落差別のことは少し知っていたけど、実際に部落出身者の話を聞けて、差別のつらさがどんなものかが分かりました。

部落出身だから差別されるということはおかしいと思います。差別される理由が変だし、差別される人は何も悪いことはしていません。でも、その差別に耐えて自分に自信を持って生活している人達は、とても強い人だなと思いました。森口さんの教え子で、結婚する時に部落出身だということをや彼女の親に話そうか悩んでいる人がいました。話してみると、その親は出身地なんか関係ないと言っていました。私も部落出身だからという考えは間違っていると思います。私達の身の回りにも、差別を受け不安な気持ちを持っている人がいると思います。一人一人がよく考えて、相手のことを思う気持ちを持つことが大切だと思います。

三崎中学校 三年

小西由香里

今日は午後から「人権フェスタ」がありました。昨年は「全国水平社」のことだったので、今年はどんなお話だろうかと考えていました。今年は、部落差別のことでした。この問題については、私達の道徳の授業や学校で部落差別にあつていた人たちのお話を聞いたので、とても強く心に残っています。そして、解決するためには、たくさんの方の努力と時間がかかるのだと思いました。

人権フェスタのオープニングは、三崎高校の吹奏楽部のとてもきれいな演奏でした。そして、中学生の作文発表がありました。三人とも自分の体験や気持ちを素直に表現していてすごいなあと思いました。そして、森口さんのお話はとてつもなく感動的でした。その話を内容はとても感動しました。私も、「部落なんて関係ないよ」とどこでもその人に言えるそんな人になりたいです。今日の人権フェスタは、私の未来を考える大切な一歩になったと思っています。

町見郷土館から

おまたせしました！
シリーズ企画展 銅の時代

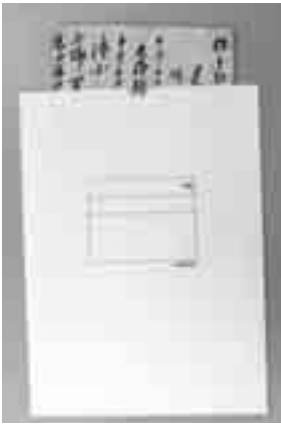
—第1章・佐田岬半島近代鉱業史—



2月24日(土)～5月13日(日)

この地域の一時代を築いた銅山・製錬所の歴史を
たどります。

スケッチ

古文書を整理・保存する中性紙封筒。
紙の酸化(黄ばみ)を抑えてくれる頼も
しい味方です。

◆ 今月のきょうどかん ◆

2007年 2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

■＝おやすみ 18・22・23 臨時休館
休館日は都合により、変更する場合があります。

TEL・FAX 39-02441
(不在の場合)
39-2661 生涯学習課
開館時間 9:30～16:30
休館 月ほか

お伊勢踊り

佐田岬民俗ノート

21

ています。

現在も伝承されているのは

佐田岬半島には、「お伊勢踊

り」と呼ばれる芸能が、三崎(一

月一日)と二名津(二月一日)の

二地区に伝えられています。

お伊勢踊りは、愛媛県南予

地方や高知県西部に点々と分

布していますが、高知の土佐

神社所蔵文書に、「御伊勢様

おとり慶長拾九年之霜月より

始ル」とあるように、慶長一九

年(一六一四)に伊勢の宣託に

よって日本中に広められまし

た(それより古いとする説も

あるよう

です。例えは文

明二年(一

四七九)『三

河記』。四

国へは阿波

から入って

土佐へと伝

わり、土佐幡

多郡から伊

予へ伝わっ

て元和・寛

永頃(一七

世紀前半)盛

んに行なわ

れたとされ



お伊勢踊り(三崎・2006年1月15日撮影)



お伊勢踊り(二名津・2006年2月11日撮影)

この四国西部だけで、近隣では県指定の八幡浜市穴井「長命講伊勢踊」が有名ですが、ほか大洲市蔵川満屋敷や西予市三瓶の二及・有太刀等でも伝えられており、八幡浜市保内町宮内では文久二年(一八六二)のお伊勢踊りの歌詞が残っているそうです。

参考文献

『愛媛県の民俗芸能』『愛媛県百科大事典』『土佐の芸能』『保内町誌』ほか
取材協力・三崎・二名津地区の皆様

から、地名が「二間津」から現在の「二名津」に変更するきっかけもなつた天明元年(一七八一)の大火を契機に踊りはじめられたのではと推察されています。

文芸

俳句

町見野の花句会

躓きて春泥の道二人ゆく

松田紋司朗

縊り固き犬注連かざる里の宮

上口久志

百八つ鐘か撞木か天徳寺

上田文男

美しきうその添え書き師の賀

浜田保仁

子や孫に囲まれ和むお元日

山口朝子

初日待つ渚やさしく眞砂鳴る

古田かずゑ

カレンダー未知なる夢をめぐ

岩見愛子

玉の日を給ひて姥の年用意

菊池あつ子

八十路にはやそじの笑顔初鏡

大沢昭子

なす事のまだく 夢き年迎う

林そで子

書く事も呆けの防止よ初日記

川縁秀子

茶柱の湯呑みに冷えし掌を添

山田美恵子

えて

今まさにこの瞬間の大初日

岩井ふみえ

恙なく喜寿を迎えて初明り

得能カツミ

大初日老いる事など忘れけり

西山美津子

お正月孫の成長ビデオでみる

得能悦子

喰い荒れて菜香人日胃に優し

城岡正治

瀬戸句会

万両のたわわな赤と門松と

小関秀次

初日の出真紅にもえて昇りけ

吉上マツエ

長き夜も寒さこらえて床に入

本田光男

七草の粥手あたりで一人なべ

井上幸子

朝々の夢は七色寒ぼたん

大星幸子

あいたいな妹案じ賀状書く

結城励子

玉太り上々の早生の蜜柑なり

浅井ミドリ

初詣鎮守の森は木の根みち

佐々木忠雄

お正月孫十四人の泣き笑い

佐々木サチ子

山間の岸に抱かれて咲く野菊

井上みつま

南天の紅き実に寄すお正月

八城征雄

ぬくぬくと温かこたつ昔夢

岡本 登

冬の鴈泣くなわれとて母の墓

福岡 博

ひと塩の効き過ぎてある秋刀

魚かな 佐々木 煦

秋天や母の心もかくあらむ

佐々木禮子

新年のお座敷からの青い海

久保初代

お正月兄と二人のお重箱

加藤恵子

命有りそつと野菊の菊マクラ

吉見福子

手を振って別れて惜しむ影一

つ吾れ目にうるむ君の面影 阿部榎太郎

さざなみ句会

寒宵や本気で作る句に会えて

中谷段々子

顧みる我が人生の隙間風

丸川一彦

初日の出夢こそ命趣味たくす

松本光女

沖の島に御光輝き大初日

宮部タミエ

おおあした日の丸あげたし力

今川キクエ

なし

七十をいくつかこせば軍歌か

な 今川又一

家を継げ貧乏も継げ鉄始め

大谷 勉

冬風ぎや向いの磯もおだやか

に 宮本マサ子

地球病む雪合戦や物語り

大川昇太

山谷に野菊山茶花出迎える

石田 満

人生の背中押し出す北の風

川口篤夫

初春に孫が唱える般若心経

神原貞規

水仙の群れて寄せ合う花の顔

山内 徹

初仕事風車回って町元氣

小西紀代子

海女守る灯台つばき固き実に

笹田吉子

わが庭やまこと坪余の鍬始め

谷口ハナエ

生きんとすもつと知りたき君

ならば 葉月 渚

川柳

伊方町川柳会

永田町腹に一物背に荷物

人々がさらなる飛躍願ふ初春

上田文男

田村智子

霜降りの白髪が似合うお年頃

徳内 郁

心地よく酔うたお酒に足とら

れ 山崎美喜

子ばなれを終えて二人は青春

よ 井上良枝

朝寝坊昼寝夜の早就寝

門田千枝

初成りのカブス色付く家敷内

芋掘って出来栄え猪だけが知

る 篠川佳津子

若い氣が何も無いのに躓いた

自慢話又かと欠伸噛み殺す

木戸恵津子

いのししにまじりデコポン盗

る人か 中谷段々子

火の用心背戸を曲がつて声響

く 山内 徹

消し忘れあわてて戻る何もな

し 石田 満

原発の不安あれこれ今日生き

て 葉月 渚

みかん送る九十のふんばり届

く子に 谷口ハナエ

灯台が円の風切るふたりです

中谷はる子



誤記訂正のお詫び

1月号2項35行目「教育委員

森 晴」とあるのは森 清が正